

発行 第13号

発行日 2015年10月15日

生活協同組合ヘルスコープおおさか

コープおおさか病院 地域連携室

538-0053 大阪市鶴見区鶴見3-6-22 地域連携直通

06-6914-1126 Fax 06-6914-1136

## コープおおさか病院

### 診察、入院等 利用のご案内

コープおおさか病院は、患者さまの身近な病院として、また地域の医療機関の一員として、ともに歩み、患者の立場に立つ医療の実践にとめていきます。入院や診察、検査等については、地域連携室に御 連絡いただきますよう御願いたします。

#### ■下部消化管内視鏡検査及び前泊入院について

当院では、下部消化管内視鏡検査を実施しています。事前の処置等も考慮して、高齢者の方には前泊入院も行っています。また高齢者の方でポリプ切除を行った場合は、前泊入院の方はもう一晚入院していただいで様子を観察することも行っています。

こうした下部消化管内視鏡（前泊含む）は、一度当院の医師の診察を受けて頂き、説明と同意、処置の仕方の説明を行っています。具体的なお問い合わせは地域連携室まで御連絡下さい。

#### ■当院で実施している短期入院（短期入院検査等）

大腸カメラ前泊入院 終夜睡眠ポリグラフ  
前立腺生検 眼科白内障手術（三泊三日）  
胃瘻造設及び胃瘻の交換

#### ■回復期リハ病棟及び地域包括ケア病棟の入院

回復期リハ病棟や地域包括ケア病棟の入院相談や申し込みは地域連携室で扱います。地域包括ケア病棟では、レスパイト入院の相談も行っています。

#### ■糖尿病外来及び教育入院

八月と一月を除く毎月、糖尿病教育入院を実施しています。教育入院期間は9日間で、原則火曜日入院 翌週水曜日退院、土曜日は外泊となりなります。また血糖コントロール入院等につきましても、担当医の判断の下で受け入れていきます。

## 回復期リハ病棟 元気まつり ことしも元気に開催！



九月二十六日、(土) 回復期リハビリ病棟の三重大行事の一つ「元気まつり」を開きました。患者、スタッフを含め総勢約80名の参加でした。元気まつりは2部構成で行われます。

一部は患者様、スタッフを紅白にわけ1階ロビーでの運動会。

競技は、シートでGO!、ピンポン球運び、玉入れです。優勝チームとがんばった人に表彰状が水野理事長より贈られました。

二部は回復期リハビリ病棟の食堂で、たこ焼きの屋台や射的・スパーボールすくいあり、縁日さながらのにぎやかさでした。

みなさん童心に返って、楽しいひとときを過ごされたようです。いつもリハビリに一生懸命取り組んでくださる患者様方の笑顔を垣間見ることが出来ました。

次はクリスマス会を予定しています。また皆さんに楽しんでいただいているよう、計画していきます！

### 外来診療及びCT検査の予約方法

外来診療、CT検査等の予約は、以下の手順でご紹介下さい。

① 予約は、まず電話で御願います。「診療情報提供書」を地域連携室にFAX(06-6914-1136)下さい。なお、夜間の場合は、FAXを送付していただければ、翌朝一番に連絡させていただきます。

② 地域連携室では、予約等の作業を行い、依頼医療機関さま宛に、患者さまにお渡し頂く「予約票」をFAXいたします。

### 救急入院等、入院にかかる件について

□ 直接地域連携室の御連絡下さい。

※但し、夜間(午後五時~翌朝九時までは、代表電話に)

□ 火曜日、木曜日は救急指定日です。

□ 午前、午後、夜間を通して「救急外来」で対応いたします。

□ 地域包括ケア病床への問合せは、地域連携室まで。

## コープおおさか病院 地域連携室

### 業務時間

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時  
土曜日 午前9時～午後1時

電話 06-6914-1126  
FAX 06-6914-1136

コープおおさか病院地域連携室は、地域の病院・診療所の連携の窓口として、入院の受入、転院の調整、検査や診療の予約業務を行っています。

また、介護保険の相談、在宅医療の相談や無料低額診療の取り扱いも医療相談室とともにおこなっています。

### 地域の中で

## 医療と介護が連携し合って

高齢化社会のなかで、医療とともに、介護が大きな役割を果たしており、医療と介護の連携は大きな課題となっています。居住系施設も急激に増加しています。

コープおおさか病院では、こうした介護との連携を重視し、取り組んできましたが、十月六日、鶴見区通所事業所連絡会「つるデイ」主催の介護技術研修に当院からも講師として七名のPT・OTが参加させていただきました。

当院は、「床からの立ち上がり介助」を担当しました。

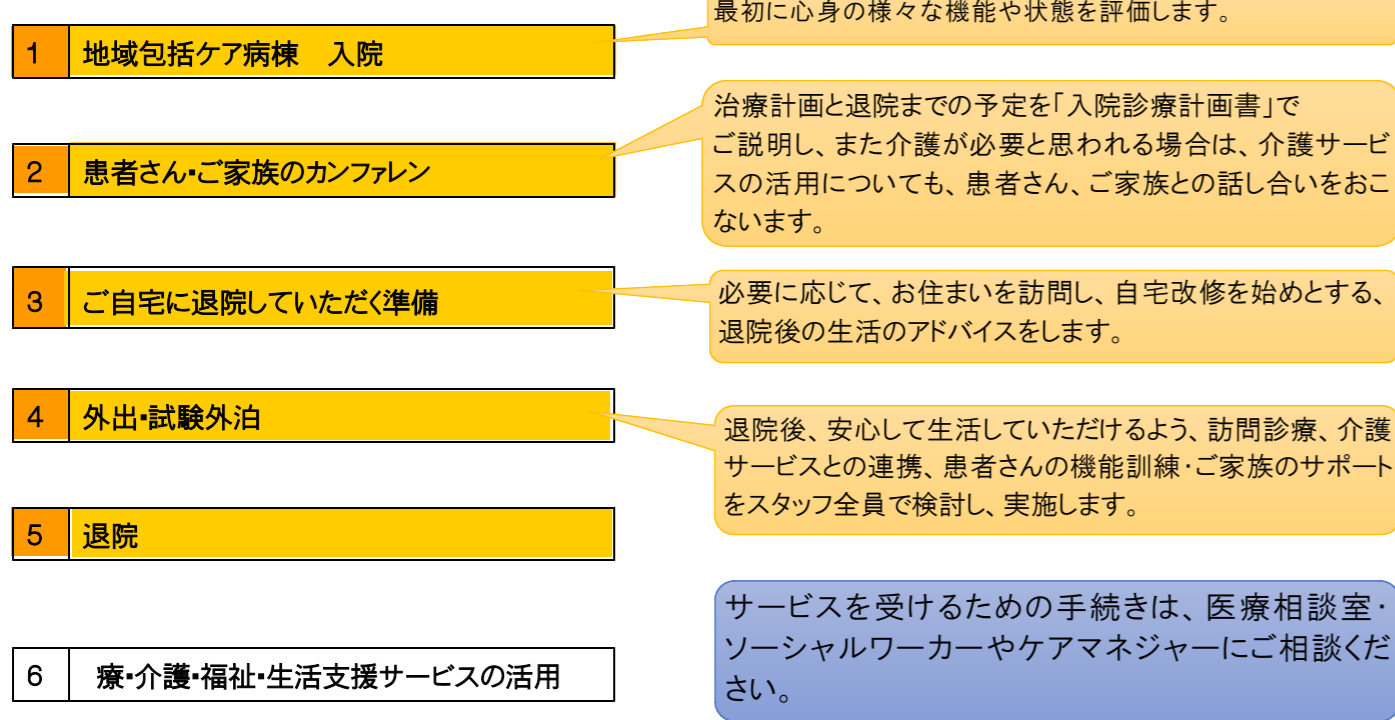
通所事業所ではあまり床から立ち上がる場面には遭遇しないとありますが、フロアでの転倒やずり落ち、送迎時の自宅内での転倒などを想定し、今回はおもに椅子を使った介助方法を提案させていただきました。

基本は助けを呼ぶことと使えるものは使うということです。思うように力が入らない人、体の大きな人をどのように介助誘導すれば動かしやすくなるかなど力学的な視点も併せて練習しました。



最後に、ユニケア訪問看護STの福原STによる嚙下体操についての学習講演がありました。地域でがんばっている皆さんと一緒に学習でき、貴重な体験でありました。

### ■ 当院の地域包括ケア病棟での流れ



※ 生活協同組合ヘルスコープおおさかは、保健・医療・介護のネットワークをつくり、大阪市東部で地域医療ネットワークづくりをすすめています。色々なサービスがご活用いただけますので、いつでもご相談ください。

### 〈患者さん・ご家族の方へのお願い〉



入院時に、「入院診療計画書」で医師が入院期間をご説明します。その入院期間を想定し、退院に向けたご準備をお願いします。また、介護必要度に応じて、聞き取りもおこないながら、介護サービス活用の認定を含む援助も進めていきます。



当病棟は、入院時に計画した入院期間(下記※印参照)内において、在宅等への退院を支援する病棟です。私たちは、多職種協働のチーム医療で患者さんやご家族のサポートをしていきます。心配や不安な点がありましたら、何なりと病棟スタッフにご相談ください。

※ 地域包括ケアは、保険診療の制度で入院期間は最長で60日と決められております。入院当初から在宅復帰に向けた調整を医師、看護師、医療相談員なども交えて進めていきます。

入院日数が60日を超えることが予想される場合には、他院・他施設での医療や療養に移行することがあります。予めご了承ください。



## コープおおさか病院地域包括ケア病棟



### ■ 地域包括ケア病棟とは…急性期医療から在宅療養までを結ぶ 「要」

平成26年4月の診療報酬改定で「地域包括ケア病棟・病床」が創設されました。急性期後の治療やリハビリをおこなって体力を回復し、安心安全の自宅復帰を目指す病棟です。

コープおおさか病院は、2015年4月 5階病棟で28床を地域包括ケア病床を届出、9月5階全病棟54床を地域包括ケア病棟としました。

急性期の治療をおえて在宅にかえるためにリハも含めて一般的な治療が必要な方、介護保険によるショートステイの利用困難な、医療的管理をされている方の短期間のレスパイト入院など、いつでもご相談ください。

この病棟には、大きく分けて4つの機能があります。

#### ①高度急性期や急性期からの受け入れ

→高度な 医療を提供する病院や病棟での急性期の治療を終えた方の受け入れ

#### ②在宅からの緊急時の受け入れ

→自宅や施設で療養中の方の緊急時の受け入れ

#### ③その他の受け入れ

→①②の他、地域包括ケア病棟で受け入れが可能な疾患の方

#### ④在宅・生活復帰のための支援

(1)おうちで暮らす準備と、必要な心身機能の回復

… 院内多職種協働

→①②③で受け入れた方に、必要な治療に加え、リハビリや食べるための訓練、口腔ケア、栄養指導、薬の調整などを、院内の多職種がチーム医療をおこないます。

(2)必要な在宅サービス等を受けるためのケアプランの立案 … 地域内多職種協働

→①②③で受け入れた方に、ケアマネジャーや医療ソーシャルワーカーが中心となって、在宅での生活を見据えたサービス提供の準備をおこないます。

→①②③で受け入れた方に、ケアマネジャーや医療ソーシャルワーカーが中心となって、在宅での生活を見据えたサービス提供の準備をおこないます。



地域包括ケア病棟の4つの機能<イメージ図>

理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)が、患者さまお一人おひとりにあった機能訓練をおこないます。



(1)、(2)を通しておうちで暮らす安心感をつくれます。

退院後は病医院のかかりつけの先生と連携し、暮らしを支えます。

### ■ 当院の病棟と病床機能

病棟	病床機能	病床機能	病床数
5階	急性期～回復期	地域包括ケア病棟	54床
4階	急性期	一般病床(10対1入院基本料)	58床
3階	回復期	回復期リハビリテーション病棟	54床

